

わたしとわたし、ぼくとぼく

作
関根信一

わたしとわたし、ぼくとぼく

【登場人物】

佐々木健人

30歳 保育士

佐々木健人

10歳 小学5年生

菊池美都里

健人のクラスメート

少女

謎の少女

佐々木由美子

健人の母親

松田梨絵

健人のクラスメート

和泉綾香

健人のクラスメート

土屋香奈

健人のクラスメート

園長先生

健人が勤める保育園の園長先生

近藤美紀子

健人の同僚の保育士

菊池和香子

美都里の母親

新幹線の車掌

東北新幹線の車掌

新幹線の乗客

鉄道オタク

おばあちゃん

健人の母方の祖母

ドライグクリーン

札幌のパレードで出会う豪華な女装

パレードのスタッフ

札幌のパレードの実行委員長

保護者1

娘を保育園に通わせている父親

保護者2

娘を保育園に通わせている母親

保護者3

息子を保育園に通わせている母親

【時間】

2017年の今と、20年前の1997年

【舞台】

具体的な装置は特にない。いくつかの椅子が舞台上に置かれている。

わたしとわたし、ぼくとぼく

由美子

由美子

三

健人

健人

由
美
子

三三

健人

三

由美子

健人

由
美
子

2017年。
健人の部屋。
夜遅い時間。
一人いる健人。
スマホを見ているが、あまり熱心なようすではない。
しばらくしてスマホを放り投げて横になる。
ドアの向こうから母親の由美子の声。

*

*

*

*

*

由美子出て行くが、ふと健人に目を止める。

あんた、老けたねえ。

わたしとわたし、ぼくとぼく

声 健 声

健 声

健 声

声 健 声 健 声

健人

健人

健人
由美子

すっかりおじさんになつてるよ。知つてる？
知つてるから、ほつといてよ！

……おやすみ。

健人、立ち上がり、鏡を見る。そこにはたしかにおじさんだ。

おじさんか

おじさんで悪いか？！

どこからか声がする。

悪くないよ。

でも、やつぱり、お兄さんの方がいい？

男の人は、お兄さん、おじさん、おじいさん。女のは、お姉さん、おばさん、おばあさん。みんな受け入れて、いくんだよ。

わかつてるつて。あ、そうか。独り言。そうだよね。しゃべってるのは鏡の中のぼくだ。受け入れてるよ。ぼくはおじさんだ。

ほんというとちよつと微妙。だって、体操のお兄さんとは言うけど、体操のおじさんとは言わないぢやない。でも、間違いなく、その階段のぼつちやつたわけだし。

のほつちやつたんだ?
うん、しつかりね。

健人、ため息をつく。

悩みがあるなら聞くよ。

いいよ、って。 そうだよな。 しやべった方が楽になるかもな。

このあたりで、声の主が現れる。小柄な少女。健人は気にしない。

健人 この間の保護者会。

少女 この間？

健人 先月。

少女 ひどいこと言われたんだ？

健人 まあね。ていうか、聞いてくれるかなうん。

少女

保育園の保護者会。

園長、保育士の近藤美紀子、保護者1、2、3が登場する。

健人もそこに加わる。

少女は少し離れて見てている。

園長先生 今日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございました。それでは、今日はこのへんで。何かありましたら、連絡帳でお知らせいただくか、私たちに直接（）相談ください。

健人と近藤、立ち上がり、頭を下げる。

保護者達も立ち上がるが……

保護者1 あの、いいですか。

園長先生 あ、どうぞ。

健人と近藤、着席する。

保護者1

妻とも話したんですが、うちの娘のおむつを男の先生に替えてほしくないんですけど。す。

間

保護者1 ネットで話題になりましたよね。だからってわけじゃないんですけど。

実は、私も同じことお話しようかと思つていて。

園長先生 ご存じのとおり、保育士の数が少なくて、そうできたらと思うのですが、なかなかむずかしい時もあるんです。

わたしとわたし、ぼくとぼく

近藤 交替でやっているんですが、手が放せないときがあつて。
それはわかりますが、できるだけということではある。

近藤 あの、まなちゃんのおむつ。お父さんが替えたりされますか？
ええ、りますよ。家事も子育ても夫婦で分担していますから。
あの、ぼくも父親のような気持ちでいるんです。
健人 父親つて……、結婚されてないですよね。

健人 ええ、まあ、そうですけど。

保護者1 結婚して、子どもを持つたら、私の気持ちもわかつていただけたと思うのですが。

近藤 あの、私もしてません。

保護者2 そういうことじやないんですよ。ねえ？

ええ。

保護者3 気持ちはわかりますけど、そこまで気にしなくとも。
お宅は男の子だから。でも、ねえ。

園長先生 保護者1 園長先生、よろしくお願ひします。

お気持ちはうかがいましたので、善処したいと思います。ですが、佐々木先生
はきちんとした保育士さんです。そのところはくれぐれも誤解されませんよう。

もちろんですよ。

保護者1 ごめんなさい。私、そろそろ……

保護者2 私も。

園長先生 それでは、今日はこれで。どうもありがとうございました。

保育士と健人、頭を下げる。

健人、保護者1に声をかけようとするが、保護者1、無視して出て行つた。

保護者2も。

（健人に） 気にしなくていいと思いますよ、私は。
ありがとうございます。

園長先生 保護者3、出て行く。
やつぱり来たか……。

健人 保護者3 保護者3、出て行く。

わたしとわたし、ぼくとぼく

健人 少女 健人 少女 健人 少女

平気なんじゃなかつたの？
わかつてゐる。わかつてゐんだけど、言い返せなかつた。
言い返してたよ。

そうじやなくて、ぼくはまなちゃんをそんなふうないやらしい目で見たことは
ないつて。だつて、ぼくは……

保育士だから。

そうじやなくて、ぼくは……

健人、その場に座り込んでしまう。

近藤	健人	近藤	健人	近藤	健人	近藤	近藤
園長先生の声							
健人							
園長先生！							
はーい。							
	失礼しちやうよね。そんなつもりで子どもたち見てるわけないのに。 うん。	佐々木先生の言つたとおりだと思うよ。親のような気持ちで見てる。私もそ うだから。	ありがとう。				たいじょうぶ？
							平気、平気。

近藤	園長先生
園長先生	近藤
佐々木先生、私は信じてますから。	健人
はい。ありがとうございます。	園長先生
はい。	近藤
だって、やましいことなんてないわ そうだよね。	近藤
園長、出て行く。	近藤

近藤
園長先生
近藤
園長先生
時代が変わったってことなのかな。
ええ、私は聞いたことありません。
でも、ほんとにそういう人いるなんて。初めてだよね？

わたしとわたし、ぼくとぼく

女人に興味ないから。ゲイだから。

そうだよ。でもさ、それを言つたら、じやあ、男の子のこといやらしい目で見てるのかって話になるかもしね。それに、そんなこと言つたら、そんな人間に子どもを任せられないって話になるかもしね。

そんなのおかしい

でも、ああいうお父さんいるわけだし。だから誰にも言つてない。ずっと関係ないと思つてた。ずっと、それで仕事してきた。子どもは好きだ。それなのに

こんなふうに休んでたら、自分が悪いって認めたことになるんじやない。

しようがないんだ。朝起きられなくなつた。それから眠れなくなつた。
元気出しなよ。

元気じやない人に元気出しなつて言うのよくないんだよ。

がんばれ！

れ？ お前、誰なんだ？

お願いがあるの！

北原山

は？

世界を救つてほしい！

何、何、何？

聞こえなかつた？（はつきりと）世界を、救つて、ほしい！

聞こえてるから。え、何、突然。何でぼく？

あなたにしかできないの！

新規の規制緩和による競争の激化に備え、各社は自らの競争力強化に注力する方針だ。

鏡の向こうに！

は？ 鏡つて、これ？

卷之三

健人、鏡を指す。

そう。

わたしとわたし、ぼくとぼく

健人 少女 健人 少女

落ち着け、おれ。どうかしてやる。

どうもしない。このままじや世界が終わつてしまふんだつて。
だから、なんでぼく？ お前、いつたい誰なんだ？

行くよ！

健人 少女 健人 少女 健人

少女、健人の手を引いて鏡の中に入つていく。

どこに行くの？

20年前。

二二〇

世界を救うんじやないの？

過去にさかのほらなしどためなんだよ

20年前の自分に会つて。

それってダメなんじやないの？

二
八

S F でしょ。 小説でしょ。 これは現実だから大丈夫。

何それ？

元のうやうのかよ？

20年前の自分をたすけてあげてほしい。

たすけるでどうやつて？

覚えてないし。

全然？

全然。覚えてないよ、そんな昔のこと。それにどうやつて帰ればいいんだよ。
思い出せばいい。

ずっと忘れてたこと、忘れようとしてたことを思い出せば戻れるから。
そんな……

わたしとわたし、ぼくとぼく

健人	少女	じやあね！
少女	(客席に向かって)	1997年、今から20年前。
健人	誰にしやべってんの？	
健人	少、一礼すると、いなくなつてしま	
	何だよ、もう。	
	小学校のチャイムが聞こえてくる。	
	そこは今から20年前。1997年。	
	クラスメイトの女子、梨絵、香奈。美	
	帰りの会が終わって、先生が出て行つ	
	ああ、帰ろう帰ろう。	
	掃除だるいなあ。	
	帰つちやう？	
	ええ、どうしようかな？	
	いいじやん、いいじやん。	
	ええ……	
	気にする……ないつて。	
	綾香がやつてくる。	
綾香	ねえ、梨絵ちゃん、私の家でポケモンし	
梨絵	いいねえ。香奈はどうする？	
香奈	するする！ 行こう、綾香ちんち。	
香奈	三人、出て行こうとする。	
綾香	ちょっと待ちなよ。掃除当番でしょ。	
美都里	てきとうにやつといて。	
美都里	ええ？	
美都里	いいじやん、今度替わるから。	
美都里	そうやつて、いつもさぼるじやない。	

ねえ、梨絵ちゃん、私の家でポケモンしない？
いいねえ。香奈はどうする？
するする！ 行こう、綾香ちゃんち。
二人、出て行こうとする。
ちよつと待ちなよ。掃除当番でしょ。
てきとうにやつといて。
ええ？
いいじやん、今度替わるから。
そうやつて、いつもさぼるじやない。

ああ、帰ろう帰ろう。
掃除だるいなあ。
帰つちやう?
ええ、どうしようかな?
いいじやん、いいじやん。
ええ……
氣にすることないつて。
綾香がやつてくる。
ねえ、梨絵ちゃん、私の
いいねえ。香奈はどうす
するする! 行こう、綾
三人、出て行こうとする。
ちよつと待ちなよ。掃除當
てきとうにやつといて。
ええ?
いいじやん、今度替わる、
そうやつて、いつつもさげ
美都里 綾香 梨絵 香奈 梨絵

小学校のチャイムが聞こえてくる。
そこは今から20年前。1997年。健人が通っていた小学校の教室。
クラスメイトの女子、梨絵、香奈。美都里と十歳の健人がいる。
帰りの会が終わって、先生が出て行つたところ。これから掃除の時間だ。

少女、一礼すると、いなくなつてしまふ。

わたしとわたし、ぼくとぼく

香奈

梨絵

美都里

そんなことないよ。

男子だつてみんな帰つてるじやん。

だからつて……

健人と一緒にやつてりやいいじやん。ねえ、健人。

……掃除さぼるのはよくないよ。

さぼるんじやなくて、替わつてつて言つてんの。

健人、男らしく髪切れよな。もう夏なんだから。

暑苦しいんだよ。

ていうか気持ち悪くない?

……。

梨絵 なんだか元気ないねえ。どうしたの?

翔太くんが転校しちやつてからずっとだよ。

でも一ヶ月も経つのにおかしくない?

綾香、梨絵に耳打ちする。

梨絵 ええ! そうなの?

健人 いいだろ、友だちなんだから。

それだけ?

それだけ?

やめろよ。

また出た。

いいよ、二人でやろう。

美都里 美都里はいつも健人をかばうのな。

好きなんじやん。

でも、無理だよ、健人は翔太くんのことが好きなんだから。

言つちやつた。

言つちやつた!

やめろよ!

おこつた!

おこつた!

梨絵

梨絵

美都里

健人

梨絵・綾香

香奈

綾香

梨絵

美都里

綾香

香奈

美都里

綾香

梨絵

健人

香奈

綾香

梨絵

健人

香奈

梨絵

美都里

(ぼんやり外を見ている健人に気付き) 健人、何見てんの?

わたしとわたし、ぼくとぼく

健人 おじさんがいる。

梨絵 おじさん。

美都里 ほんとだ。

大人の健人、まわりを見回す。

大人の健人 ぼく?

健人・美都里 うん。

綾香 誰もいないよ。

香奈 おかしいんじやん。

美都里 いるよ、おじさんがいる。そこに。

美都里、大人の健人を指す。
少女たちには見えないらしい。

綾香 二人とも変なの。

香奈 気持ち悪い。

梨絵 行こうぜ。

綾香、香奈 帰ろう、帰ろう!

梨絵、綾香、香奈出て行く。

残ったのは、健人と美都里と健人。

わかりにくいので、以下、大人の健人は、おじさん健人と呼ぶ。

おじさん健人 どうも。

健人 どうも。誰ですか?

美都里 やめなよ。知らない大人と話しゃいけないって。

おじさん健人 知らないってわけでもないんだけど。

美都里（健人に）知り合い?

健人 ううん。

美都里 先生呼んでくる。

美都里、出て行こうとする。

おじさん健人 ちょっと、待つて。えーと、あやしい者ではありません。

わたしとわたし、ぼくとぼく

美都里 じゃあ、誰なんだよ。

おじさん健人 えーと……

健人 なんで靴履いてないんですか？

言われてみれば、おじさん健人は裸足だ。

おじさん健人 いろいろ事情があつて。

美都里 事情？

おじさん健人 ぼくは未来から來ました。

健人、美都里 未来？

美都里 何のために？

おじさん健人 えーと、君を助けるために。

健人 ぼくを？

美都里 あやしすぎる。先生！ 先生！

美都里、出て行こうとする。

おじさん健人 ちょっと待つて。（健人に）何か困つてることない？

健人 困つてること？

美都里 ほんとに助けてくれるの？

おじさん健人 もちろん！

美都里 じゃあ、掃除さぼつて帰ったやつら連れてきて掃除させてよ。あいつら、いつもさぼつてばかりで。

おじさん健人 OK、まかせて！

ダッシュで出て行くが、すぐ戻つて来る。

おじさん健人 でも、ぼくの姿見えてないみたいだし。

美都里 役に立たないなあ。

おじさん健人 他にない？

美都里 じゃあ、あいつらが健人のこといじめるのやめさせてよ。

おじさん健人 ……。

美都里 健人のこと、男らしくないって言つていじめるんだ。たすけてくれるつて言つたよね。じゃあ、たすけてよ。

わたしとわたし、ぼくとぼく

間

健人

お願いします。

おじさん健人 うーん、男らしくないって言われるなら、男らしくなればいいんじゃないかな？

美都里 は？

健人 あの、男らしいって何ですか？

おじさん健人 えーと、何だろう？

健人 ぼく、今までと何も変わったないつもりなのに、みんなから仲間はずれにされ
て。男子からも女子からも。男は男同士、女は女同士遊ぶんだって。みんな仲
良くつて言われてたし、みんな一緒に遊んでたのに。そんなのおかしいんだっ
て。よくわからないんです。

おじさん健人 それがだんだん大人になつていくつてことなんじやないかな？

美都里 そんなのずっと先なんですけど。

おじさん健人 じゃあ、そうだ。強くなるっていうのはどうかな？

美都里 喧嘩に勝てるように？

健人 喧嘩はダメだよ。

おじさん健人 そうなんだけど、体だけじゃなくて、心も強くなるんだよ。

健人 どうすればいいんですか？

おじさん健人 え？

健人 どうしたら強くなれるんですか？

おじさん健人 ……がんばる。

健人、美都里 ……。

おじさん健人 がんばれ！ 応援するから！

美都里 全然だめだ。

健人 うん。

おじさん健人 他に何かない？ もっと他のこと！

健人 じゃあ、翔太くんに会わせてほしい。

おじさん健人 翔太くん？

美都里 健人の親友。先月転校してつた。

健人 会いに行きたいんだ。でも、お母さんが遠いからだめだつて。一緒に行つてくれないかな？ お願いします！

美都里 それくらいできるよな。大人なんだから。

わたしとわたし、ぼくとぼく

おじさん健人 止めた方がいいんじやないかな？

健人 なんですか？

おじさん健人 いや、翔太くん、もう新しい友だちができるかも知れないし。

健人 また会おうつて約束したんだよ。

おじさん健人 そうかもしれないけど……

健人（美都里に） いいよ、行こう。

美都里 え？

健人 行こう、二人で！

美都里 今から？

健人 行こう、一緒に。

美都里 うん。

二人、歩き出す。

おじさん健人 待って！ 行っちゃダメだ！

少女がやつてくる。

少女 どうしたの？

おじさん健人 思い出したんだ。翔太くんに会いに行つたこと。電車に乗つて、翔太くんに会いに行つた。住所のメモを頼りにしてね。

別の空間に健人と美都里が現れる。メモを手にして翔太の家を探して歩いている。

翔太の家の前。

おじさん健人 やつと見つけた翔太くんの家、いつも遊んでたときみたいに呼んでみた。

健人（大きな声で） 翔太くん！！

健人と美都里、ストップモーション。
間

おじさん健人、健人のとなりに立つ。

わたしとわたし、ぼくとぼく

おじさん健人 玄関から顔を出した翔太くんはびっくりしてた。「健人、どうしたの?」

健人 会いに来た。元気?

おじさん健人 翔太くんは困った顔してた。そして、言つた。「ごめん、今、友だちが来てるんだ。」

健人 :

おじさん健人 「もう来ないでくれるかな。じゃあね。」そう言つて、玄関のドアを閉めた。

ドアの閉まる音。

美都里 帰ろう。

健人 :

二人、歩いて行つた。

おじさん健人の部屋。

おじさん健人 世界の終わりか……

少女 え?

おじさん健人 思い出したよ。世界が終わつたみたいだつたんだ。

少女 まだ終わつたわけじゃないよ。終わつたみたいってだけで。

おじさん健人 翔太くんのところに行つちやいけなかつたんだよな。あの時、会いに行かなかつたら、いろいろなことが変わつてたのかもしれない。

少女 そうなの?

おじさん健人 うん。初めて誰かのこと好きになつたんだ。初恋つてやつ。初めはおかしいと思わなかつた、でも、だんだんおかしいんだつて気がついて、でも、どうしようもなくて。

翔太くんに会えなくなつて、今度は女の子のことが好きになつた?

少女 ううん、全然。今でもずっと好きなんだと思うよ。おかしいよね。

今翔太くんに会いに行く?

おじさん健人 いいよ、どうしてるか知らないし。あの後、また遠くに引っ越したんだ。それに、もう会いたくないって言われたんだから、二十年も前に。

会いに行く前に戻つて、もう一度、やり直してみたら? 会わなかつたことにする。

おじさん健人 だめだよ。だつて、あんなに会いたかったんだから。

わたしとわたし、ぼくとぼく

香奈

えう女だあ男そ主ど男誰あそモ狼ヤ鹿な何気おか見ね

見た 映る
こい しろ
ち悪 ?
か虫
かわ
くる
迫力
の君
そう
声、
か女
ちな
歌歌
いう
女か
は男
て、
人だ
のク
、誰

「生輪明」といふやうな、思つてゐるが、それが、

アシ
がう
ね。
い。
い。
るー
がや
がや
らな
？
もそ
も。
。

しゃうじやうか！
ののはうか！

からな
へつぽ
んでし
しゃし
門?

健人、またごろりと横になる。
少女、健人を見ているがやがて去る。

学校のチャイムの音 数日後の小学校の教室。 帰りの会。

わたしとわたし、ぼくとぼく

先生 美都里
先生 梨絵
先生 先生
先生 綾香

先生 美都里
先生 梨絵
先生 先生
先生 綾香

先生

香奈
先生

綾香
美都里
梨絵
綾香
梨絵、綾香、
香奈

綾香
梨絵

ええ?
あと……

梨絵、綾香に耳打ち。香奈もまざる。

綾香
たしかに。

うるさいな

何も言つてないんだけど。

二人で見に行けばいいんじやん、もののけ姫。

梨絵、綾香、香奈(はやしたてる)もののけ! もののけ! もののけ!

香奈
先生だ。

担任教師が入つて来る。
みんな席につく。

はい、今日は、みんなの心と体についての学習をしましたね。みんなはこれから、体がだんだん変わっていきます。男子は男らしく、女子は女らしくなっていきます。男子は女子のことが、女子は男子のことが好きになつていきます。それが大人になるための変化です。

先生、質問なんですけど。

何ですか?

美都里みたいな子も女らしくなるんですか?

え?

健人みたいな子も女子のことが好きになるんですか?

間

それは、一人一人違うから。なんて言つたらいいか……
先生、しつかりしてください。

成長の度合いは人によつて違うから。今は、まだ変わらなくとも、みんなより遅れて変わる人もいるんです。

変わらなくちやいけないんですか?

いけないってことはないけど、いつまでも子どものままではいられないよね?

わたしとわたし、ぼくとぼく

美都里

大人になんかなりたくないです。
そんなの無理じやん。

何言つてんの？

どうしたらしいですか？

あとで先生と話そう。それでは、プリントを配ります。

梨絵 綾香 美都里

プリントを配る。

みんなに、大人になった自分への手紙を書いてもらいたいと思います。

梨絵、綾香、香奈 大人になつた自分？

先生 今の自分から大人になつた自分に、手紙を書いてください。今の自分はこんな

気持ちだよ、どんな大人になつていますか？ つて。

梨絵 それどうするんですか？

みんなが大人になるまで、先生が預かっていようと思ひます。でも、ちょっと
むずかしいので、みんなが大事に持つてて、大人になつてから読んでみてくだ
さい。でも、今日は提出して帰つてくださいね。

何それ？

手抜きじやないですか？

じゃあ、始め！

子どもたち、しぶしぶ手紙を書き始める。

美都里と健人、なかなか書き出せないでいるが、なんとか書き始める。
梨絵、綾香、香奈、それぞれ書き終えて、先生に提出して去る。

美都里と健人、悩んでいる。

おじさん健人、近くにやつてきて、のぞきこむ。

健人 やめてよ。

おじさん健人 いいじやん。

健人 未来つてどんなですか？

おじさん健人 未来？

先生 さあ、どんな未来だろうね。佐々木くんはどんな未来がいい？
……いえ、なんでもないです。

おじさん健人、健人からはなれて美都里をのぞく。

わたしとわたし、ぼくとぼく

美都里 やめろよ。

おじさん健人 「ちよつと」見せてよ。

美都里 先生、なんかうるさいんですけど、このへん。

おじさん健人 なんだよ！

先生 このへんって虫か何か？

美都里 そんなもんです。

先生 よし、キンチヨール！

おじさん健人 わかつたよ、見ないよ。

美都里 いなくなりました。

先生 なんだそーか。

健人、先生に提出、続いて美都里も。

おじさん健人、結局、見ることが出来ない。

二人とも、何か困ったことがあつたら、相談して。

先生 はい。

健人 ……。

先生 じゃあ。

先生、退場。

何書いた？

教えてない。そつちは？

教えてない。じゃあね。

二人、別れて、退場。

健人についていこうとするおじさん健人。

健人 ついてこないでください。

おじさん健人 力になりたいんだ。

健人 気持ちだけ受け取つておきます。

おじさん健人 そんな……

健人 失礼します。

健人、行つてしまふ。

おじさん健人 なんだよ。もう……

おじさん健人、しばらく考えていたが、美都里についていく。

美都里の家。
美都里の母、和香子がいる。

美都里

うん、寄り道してた。

和香子
だめでしょ、まつすぐ帰つてこなきや。今日、性教育の授業あつたんだって？

和香子

美都里
何？

和香子

和香子、華やかな色の女の子の服を取り出す。

あんたの部屋のゴミ箱に入つてた。

美都里 着ないもん

美都里 捨てたんじやないよ、机の上から

和香子
言い訳しないの。せつかくお父さんが買つて来てくれたのに。

そう、うの好きいやないって言つてゐるいやない。

和香子 女の子でしょ。もっと女の子らしい服着たらどう?

美都里 出で行け」とする

和香子 待ちなさい セイエンド 話そう

和香子
あんた大人になりたくないって言つたんだって？

わたしとわたし、ぼくとぼく

わたしとわたし、ぼくとぼく

美都里

和香子

…

美都里

和香子

しかたないのよ。もうじき中学生なんだから。男の子は男らしく、女の子は女らしくなつていくの。中学生になつたら、制服着なくちゃいけないんだから。わかつてゐる。だから、いいじゃない。ほつといでよ。

美都里

ほつとけるわけないでしょ。いい、いやだからってそんな男の子みたいな格好ばかりしてると、気持ちだつて、どんどん男の子みたいになつてくるのよ。試しにこういう服着てみたら、それに合わせて、気持ちだつて変わつていく。そういうものじやないの？

美都里

和香子

変わらないつて、言つてるぢやない。
わからぬでしょ。いいから、着てみなさい。

美都里

和香子

いやだ。

美都里

和香子

美都里ちゃん！
いやだ。

美都里

和香子

美都里！
いやだ。

美都里

和香子

美都里！
いやだ。

和香子は服を美都里に押し付け、美都里は受け取らない。押し問答。

美都里（服を床に投げて）もうやだ！

和香子

…。

和香子、服を拾い上げて部屋を出て行く。
おじさん健人、美都里のそばに。

美都里

おじさん健人

未来から來たんでしょ？ 未来の私はどんなどつた？ 普通の女人になつてた？ ねえ、教えてよ。
…ごめん。未来のことは教えちやいけないことになつてるんだ。そういう決まりで。

美都里

おじさん健人

そうそう。
どうして？

美都里

おじさん健人

とにかく、そういうことになつてるんだよ。

美都里

…。

わたしとわたし、ぼくとぼく

香奈 梨絵 綾香 香奈 梨絵 綾香 香奈 梨絵 綾香 香奈 梨絵 綾香

健人、翔太くんに会いに
ええ、まじ？
なんで知つてんの？
うちのお母さん、翔太く
ん、すごいね。
でも、きもくない？
ていうか、迷惑だよね。
たしかに。
翔太くんも、もう来ない
それもひどくない？
でも、そういうもんだよ
そうだよ。

チヤイムか鳴る。
数日後の学校。

おじさん健人 そんな…… 少女 退場

少女 おじさん健人 教えてあげたらいいんじゃないの？

おじさん健人 教えてあげたいんだけど、どうしてるか知らないんだ。小学校卒業してから、会わなくなつて。すっかり忘れてたくらいなんだから。

少女 でも、思い出した。忘れようとしてたけど。

おじさん健人 ねえ、大人のぼくは、子どものぼくにどうしてやればいいのかな？ どうした
ら、助けてやれるんだろう。

少女 自分のことでしょ。自分で考えなよ。

美都里、出て行く。
少女がやってくる。

少女

教えてあげたらハハんじやないの？

*

*

*

*

わたしとわたし、ぼくとぼく

先生
梨絵

先生

美都里

先生
美都里

先生
美都里

香奈

香奈

健人

健人

健人

健人

梨絵、綾香、香奈（はやし立てる）もののけ！ もののけ！ もののけ！ もののけ！
健人 ……

美都里、入つて来る。

美都里（強く）やめろよ！！

梨絵、綾香、香奈 怒つた！

香奈 先生だ。

先生がやつてくる。
一同席につく。

日直さん。

起立、礼。

一同、礼。

着席。

一同、着席。

この間、書いてもらつた大人になつた自分への手紙を返すので取りに来てください。

子どもたち、先生のところへ手紙を取りに行く。

大人になるまで大事に持つていてくださいね。
みんながどんな手紙を書いたか知りたいです。

綾香
梨絵
香奈
綾香
また行つたりするのかな？

かもね。

しつこい。

ていうかきもい。

綾香
梨絵
香奈
綾香

わたしとわたし、ぼくとぼく

先生
梨絵
香奈
先生

綾香

梨絵

香奈

綾香
香奈
先生

綾香

一人ずつ読んでみたらいいと思います。

発表はしなくていいです。これは自分のための手紙なので、心の中に大事にしまつて……

でも、もう書いちやつたし。
じゃあ、私が読みます！

香奈、立ち上がって読み始める。

大人の私へ。私は英語の勉強をがんばって、通訳の仕事をしたいと思っています。やっていますか？もしうけていなかつたら、なぜできていなかつたのかを反省して、がんばってほしいです。期待を裏切らないでください。結婚とかはまだしなくてもいいので、まずは仕事をがんばってください。よろしくお願ひします。

梨絵が立ち上がって読む。

私から私へ。今、何してますか？結婚はしていますか。子どもはいますか？旦那さんはどんな人ですか？家族そろつてみんなで旅行に行つたりしたいです。子どもは女の子と男の子が一人ずつ。ペットは家のラムくんとおなじトイプードルを飼つていてほしいです。

綾香が立ち上がって読む。

大人になつた私へ。私には今たくさん友達がいます。大人の私はどうですか？今の私は、プリクラを撮るのが大好きです。この手紙にプリクラを貼つておきますね。一緒に写つてるのは親友の梨絵ちゃんと香奈ちゃんです。身長は伸びましたか？お父さんもお母さんも小柄なので、お母さんより大きくなれたらいいと思います。

綾香、着席する。

ありがとうございます。みんな、すてきな手紙ですね。
健人は？どんなの書いたの？
聞きたないな。
授業を始めます。

わたしとわたし、ぼくとぼく

健人
梨絵

綾香
奈
香

佐々木くんがどんな手紙を書いたか知りたいです。

みんながどんなことを考えているのか知りたいです。
おもしろいじゃないですか。

これは自分から自分への手紙です。おもしろがるためのものではありません。
授業を始めます。

梨絵、綾香、香奈
ええ？！

美都里

大人の私へ。大人の私は何をしているんだろう？ 今の私にはよくわかりません。どんな大人になっているのかも。私は大人になりたくないです。今そのままですっといたいです。それでも、大人になった私がこの手紙を読んでいてくれるとうれしいです。それは、大人の私がちゃんといるということだから。私は今私のまま大人の私になって、この手紙をちゃんと読めたらいいと思います。

健人、立ち上がって、読み始める。

健人

大人のぼくへ。元気ですか？ ぼくは元気です。ちょっとそうです。翔太くんが転校してしまって、とてもさびしいです。大人のぼくもさびしいままですか？ 今のぼくは男の子のことが好きになるみたいですね。大人になつてもそれは変わつませんか？ もう治つて好きな女の子ができたりしてますか。ぼくは大人になつたらやりたいことがいっぱいあります。夢はかなっていますか？ 教えてほしいです。

健人、着席する。

やつぱりそうなんだ。

そういうのつて治るの？

ええ？（と耳打ち）

梨絵たち、また内緒話を始める。

やだ！！

…

笑い合いふざけている。騒がしい。

先生

静かにして！ それでは授業を始めます。

授業が始まる。

健人は立ち上がり教室を出て行く。
先生と他の子どもたちは気が付かない。

美都里だけが気付いて、立ち上がり、後を追っていく。
おじさん健人、二人を追っていく。

教室の先生と梨絵、綾香、香奈、退場する。

学校の近くの土手。夕方。

健人と美都里、土手に腰を下ろす。
おじさん健人、少し離れて見ている。

間

健人

いいの、塾？ まだ間に合うんじゃない？
いいよ、行かない。受験とかしたくないし。
制服のない中学、行くんじやなかつたの？

無理だよ、私、バカだもん。

そんなことない。がんばろうよ。

健人

健人はどうすんの？
受験？ しない。お金かかるから。

健人

そうか。

間

健人

さつきはごめんね。ぼくが早く手紙読めばよかつたのに。
いいよ、読んだら、ちょっととすつきりするかと思つて読んでみただけだから。
すつきりした？

ううん。余計もやもやしてる。

ぼくも。

間

わたしとわたし、ぼくとぼく

健人
美都里

健人
美都里

健人
美都里

健人
美都里

健人
美都里

健人
美都里

死んじやおうかつて思つたことある？
ある。

わたしとわたし、ぼくとぼく

健人
美都里
死んじやう？
ぼくもある。

健人
美都里
でも、みんな悲しむよ、きつと。

健人
美都里
そんなの気にしなくていい。だって、死んじやつてるんだから。

健人
美都里
そうか。
うん。

二人立ち上がり、川にむかって歩き出す。

おじさん健人 待つて！

二人、立ち止まる。

おじさん健人 だめだよ、そんな。さつき手紙書いたじゃないか、未来の自分について。読む人
いなくなつちやうじやないか。だめだよ、そんなの。

健人
じやあ、どうしたらしいんですか？

美都里 未来から来たなら教えてよ。教えちゃいけないなんて、嘘なんですよ。正直に
話したら落ち込むと思って、それであんなこと言つたんでしょう？

間

おじさん健人 たしかに、今はつらくて大変かもしね。でも、未来はそうじやない。未来
から来たぼくが言うんだから間違いない。

健人、美都里
……。

おじさん健人 全然役に立たないけど、これだけは本当。ぼくは未来から來たんだ。今から2
0年後。

健人 20年後？

おじさん健人 20年後、たとえば、アメリカやヨーロッパでは男同士、女同士が結婚できる
ようになってる。

健人、美都里
ほんとに！？

おじさん健人 ほんとだよ。

健人
日本はどうなの？

おじさん健人 日本はまだできない。でも、東京や他の地方都市では、同性パートナーシップ
が認められるようになつてる。

わたしとわたし、ぼくとぼく

美都里

パートナーシップ？

おじさん健人 結婚とは違うけど、家族として認めるつていうこと。たとえば、長い間一緒に暮らしてた男同士のカップルの一人が急に倒れて亡くなつた。病院で治療を受けてる間、面会は家族だけつて言われて、最愛の人を看取ることができなかつた。でも、そういうことがなくなるんだよ。1997年の今は、男同士で部屋を借りようとすると不動産屋でいやがられる。でも、未来はそうじやない。心と体の性別が違つて悩んでる人は戸籍上の性別を変えられるようになつた。時代は変わつていくんだよ。

美都里 それが事実だとしても、それまであと20年もあるんでしょう？

おじさん健人 まあ、そななんだけど……

美都里 今をなんとかしてよ！

健人 うん！

おじさん健人 ……今は1997年だよね。たしか、この頃から、ゲイや、レズビアン、セクシュアルマイノリティの人たちが集まつて、パレードしたりしてた。

健人 パレード？

おじさん健人 そう「自分らしく生きよう」「差別をなくしてほしい」「私たちはここにいる」つて行進してた。たしか、そだつた。

健人 どこですか？ 名古屋？ 東京？

おじさん健人 えーと、どこだつたかな……？ タシカ札幌？

美都里 それ新聞で見た！ 札幌で今度の日曜日、そういうのがあるつて。

おじさん健人 ほら、言つたとおりだ。

美都里 威張ることじやないし。

健人 行つてみようか。

おじさん健人、美都里 え？

健人 行つてみよう。二人で。

美都里 札幌まで？

健人 うん。見てみたい、そのパレード。

おじさん健人 そんな無理だよ。だつて、君たち、まだ小学生なんだから。

美都里 行つてみよう！ 行つてみたくなつた！

おじさん健人 ええ？

札幌なら、おばあちゃんがいるから、行き方は知つてる。

飛行機？

健人

ううん、電車。お母さんが飛行機苦手で。

美都里

ううん！

わたしとわたし、ぼくとぼく

おじさん健人 だめだつて！ 君たちはいつもそうやつて、思いつきで行動してるよね。やめ
といった方がいいって。

健人 それとこれとは話が別です。

おじさん健人 でも、遠いよ、札幌。すゞぐお金かかる。

健人（美都里に）貯金、いくらある？

美都里 え？

健人、美都里に耳打ち。美都里も健人に耳打ち。

健人 行けるね！

おじさん健人 行けちやうの？

健人 お年玉貯めてるんで。（美都里に）計画立てよう！

おじさん健人 お母さんが「だめ」って言うんじやない？

健人 言わないよ。だって、内緒だもん。

おじさん健人 そんな、ちょっと待つて。

健人（美都里に）図書館で話そう！ 時刻表も調べる！

美都里 うん。

健人（おじさん健人に）ついでこないでくださいね！

美都里 行こう。

健人と美都里、歩きだす。

おじさん健人 ああ……！

少女 少女がやつてくる。

おじさん健人（少女に）どうしよう？

少女 迷つてるの？

おじさん健人 なんとかしてやめさせる？ それとも一緒に行くのかな？

少女 早く決めないと。

おじさん健人 ぼくが決めるの？

少女 そうだよ。自分のことでしょ。

おじさん健人 どうしよう。だって、こんなこと全然記憶にないし、だって、こんなふうに札幌に行つたことなんてないんだから。もしかして、現代に戻れなくなったりす

わたしとわたし、ぼくとぼく

るんじやない？

少女
かもしだいね。

おじさん健人 ええ？

少女

世界も私の世界も
あの子を救う」とか世界を救う」とになるんだよ

おじぎん健人

少女
どうする?
どうしたい?

おじさん健人 遠くの土手を走つて行く健人と美都里を見て……

おじさん健人
わかつたよ。行つてみる。ほつとけないし。

少女 うん。

おじさん健人
じやあね

おじさん健人、健人と美都里を追っていく。

久遠 いはれの木を眺めてしる

東北新幹線の車内

二人掛けの座席に

美都里は、これまでよりも男の子に見えるよ

手前の席におじさん建人が座る

著者略歴

人がいっぱいで遅れそだつたんだよ。お弁当買う

食給ひにいへり。かくいふは、
語の音言にかへて、いふ。

のところに行くから心配しないでつて。だから、だいじょうぶ。

建久元年正月

美都里

健人 それまずくない？ 盛岡から電話した方がいいって
美都里 いいよ、今頃きっと健人のお母さんに電話してる。

わたしとわたし、ぼくとぼく

- おじさん健人 乗り換えの時間に電話しなよ。
- 美都里 うるさいなあ。
- 車掌がやつてくる。
- 車掌 本日は、東北新幹線やまびこ盛岡行きにご乗車ありがとうございます。乗車券を拝見いたします。
- おじさん健人（健人と美都里に）切符、どこにやつた？ いつもと違うところに入れるとなしくすからね。
- 美都里 うるさいって！
- 車掌、乗客の検札に続いて、健人と美都里の切符の検札をする。
- 車掌 どこまで行くのかな？
- 札幌です。
- 健人 二人だけで？
- 車掌 はい。でも、だいじょうぶですかから。
- 健人 気をつけてね。
- 車掌 はい。
- 健人 はい。
- 車掌、おじさん健人に声をかける。
- 車掌 乗車券を拝見します。
- おじさん健人 は？
- おじさん健人、こつそり座席を移動する。
- 車掌 （おじさん健人に）乗車券を拝見します。
- おじさん健人（驚いて）見えてるの？！
- 車掌 どうかしたんですか？
- 健人と美都里もびっくりしている。
- おじさん健人 えーと、友達が持つてるんですけど、トイレに行つてて……
- 車掌 なんで靴履いてないんですか？

わたしとわたし、ぼくとぼく

二人、乗客の写真を見てみる。

乗客　だよね！　ぼくも本当は新幹線じゃなくて、各駅で行きたいくらいなんだ。でなければ寝台特急北斗星。乗つたことある？
健人　いえ、まだ……
乗客　ぼくは二十六回乗ってる。今度乗つてみるといいよ。最高だから。
健人　はい……
乗客　ぼくが撮った写真見てみる？　これ、北斗星の食堂車。グランシャリオ。グラ
ンシャリオっていうのは北斗七星って意味なんだ。
二人　へえ……

短い間

乗客（健人と美都里に）　変な車掌さんだつたね。
健人　ええ……
乗客　でも、いろんな人に出会えるのが旅の醍醐味だからね。
健人　はあ……
乗客　札幌まで行くつてことは、盛岡で乗り換えて、特急はつかりで青森。快速海峡
で函館。スーパー北斗で札幌だね。
健人　はい。
乗客　なんで飛行機じやないの？！
美都里　電車好きなんです。
健人　大好きなんです。

乗客、さつきまでおじさん健人がいた座席を見てみる。

おじさん健人、立ち上がり、次の車両へ逃げていく。
車掌、深追いせず、一礼して立ち去る。

美都里、健人　　なんでだろう？

おじさん健人　あ、この方がラクなんで。
車掌　靴見当たらぬですよね。
おじさん健人　友達が持つてつたんだ。参つたなあ。ちょっと見て来ます。

乗客　学校で、鉄道オタク、鉄オタなんて言われて、気持ち悪がられたりしてない？
美都里　それはなーんですけど……

樂客
二〇二〇年六月一號

乗客たしかに肩身は狭い でも 鉄道ファンは世代を超えて大勢いるんだ 見たて
いけど大勢ね。鉄道にはロマンがある。時刻表は夢の道しるべだ。自信をもつ
て、がんばろう！

健人
美都里
はし

車掌が戻ってくる

車掌（健人と美都里に）君たち、札幌まで行くつていうのは、お父さん、お母さんは知つてゐるのかな？

知つてます。

黒雲の間の雷語をうるさく聞こへた。

一七八、刻玉之工

建人
そんなんじやなハです。

だったら、教えてくれてもいいよね。

健人、美都里

私が保護者です。

車掌

生、二二八。林艸、行、公、一

乗客

札幌まで何のために?

乘客
え?

甥っ子さんたちと札幌に何しに行くんですか？

乗客
……SLの写真を撮りに行くんですね！

SIRへて苗穂ですか？

いやあ、苗穂はいいですね。キハ82にC62。いい写真撮つてくださいね。
乗客 はい。
車掌 それじゃ、いい旅を！

わたしとわたし、ぼくとぼく

車掌、去つて行く。
おじさん健人、戻つて来る。

健人、美都里 ありがとうございました。

乗客 安心して、ぼくも一緒に札幌まで行くから。

健人、美都里 いいんですか？

乗客 うん。蒸気機関車の顔が見たくなつた。いつ見られなくなるかわからないからね。よし写真を一枚撮ろう。

乗客、健人と美都里の写真を撮る。
こつそりおじさん健人も紛れ込んでみる。

乗客 はい、チーズ！

シャッターの切れる音。

札幌駅。

健人、美都里 ありがとうございました！

乗客 それじゃ、元気でね！ また、どこかで会おう！

健人、美都里 はい！

乗客、去つて行く。

おじさん健人がやつてくる。

美都里 札幌つてやつぱり涼しいね。もう夏なのに。

おじさん健人 北海道には梅雨がないからね。一番いい季節なんだよ。よし、じゃあ、行こうか、おばあちゃんち。

健人 おじさん、どこにいたんですか？

おじさん健人 遠くからきみたちを見守つていたよ。

美都里 トイレに隠れてたくせに。

おじさん健人 だつて、また、ぼくのこと見える人がいたら困るじゃないか。先に札幌行つてくれてた方が、気がラクだつただけど。

美都里 おじさん健人 そういうわけにはいかない。ぼくは君たちをたすけにきたんだから。あやしまれるから、無視しよう。いるけどいなることにする。

美都里

わたしとわたし、ぼくとぼく

健人 そうだね。行こう。

美都里 うん。

健人と美都里、行つてしまふ。

おじさん健人 ああ、待つてよ！

おじさん健人、あとを追つていく。

健人のおばあちゃんの家。

おばあちゃん、健人、美都里がやつてくる。

おばあちゃん よく來たね、二人とも。道中、無事だつたかい？

健人 うん。（紹介する）友達の美都里。

美都里 初めまして。お世話になります。

おばあちゃん おや、女の子だったのかい。男の子だとばかり思つてたよ。悪かつたね。

美都里 別にいいです。

おばあちゃん 健人よりずっとたくましいかんじだ。頼もしいね。

健人 おばあちゃん……

おじさん健人 おばあちゃん……

おじさん健人、おばあちゃんをなつかしそうに見ている。

少女がやつてくる。

以下の会話の間、健人と美都里とおばあちゃんはエアおしゃべりをしている。

少女 どうかした？

おじさん健人 おばあちゃん、この何年か後に病氣で死んじゃつたんだよ。この頃はまだ元気

だつたんだね。お葬式で來た時、もつと何度も遊びに行つてあげればよかつたつて思つたんだつた。

少女 よかつたじやない、遊びに来れて。感謝してよね。

おじさん健人 ええ……？

少女、いなくなる。

健人と美都里とおばあちゃんの会話がもどつてくる。

おじさん健人は様子をずっと見ている。

わたしとわたし、ぼくとぼく

おばあちゃん お腹空いてるんでないかい。

健人 うん。

おばあちゃん ジンギスカン用意してあるから。

美都里 ジンギスカン？

健人 ヒツジの焼肉。

おばあちゃん カニや寿司でなくてごめんね。札幌来たんだもの、そのくらい食べてってもらわねば。

美都里 いただきます。

おばあちゃん どれ、支度してくるから待つててね。

おばあちゃん、出て行く。

健人 よし、じゃあ、明日の計画を立てよう。新聞！

美都里 うん！

美都里、新聞の切り抜きを取り出す。

美都里 実行委員会の電話番号があるから電話してみる？

健人 やめよう、子どもはだめって言われるかもしれない。

そうか。

「北6条エルムの里公園を正午に出発」 って書いてある。十一時半くらいに行つてればいいんじゃないかな。

場所わかる？

うん。札幌の町は道路がマス目になってるから、わかりやすいんだよ。

でも、遅れないように少し早く行こう。

そうだね。早起きしよう。

うん。

おばあちゃんが大きなお盆にジンギスカンの用意をのせてやってくる。

おばあちゃん ほれ、手伝つておくれ。

健人、美都里

はーい。

健人と美都里、おばあちゃんを手伝つて食事の準備。

わたしとわたし、ぼくとぼく

健人、美都里 いただきます。
おばあちゃん はい、どうぞ。

健人と美都里、食べ始める。

美都里 ひつじ、うめえ！

健人 だろ。

おばあちゃん 野菜もね。とれたてだよ。

健人、美都里 はい！

おばあちゃん、嬉しそうに見ている。
おじさん健人も。

健人、美都里 ごちそうさまでした。

おばあちゃん おそまつさまでした。

健人、美都里 おやすみなさい。

二人、その場で寝てしまう。おじさん健人も。

おばあちゃん はい、おやすみ。

おばあちゃん、退場。

そして、翌朝。

少女がやつてくる。

少女（おじさん健人に）もう朝だよ。起きてよ。起きて！

おじさん健人 むにやむにやむにや。

少女 もう……！（健人と美都里に）ねえ、起きてよ。もう朝だよ。あ、さ、だ、
よー！

健人 むにやむにやむにや。もう食べられない……

二人、起きない。

もうどうしたらいいの？

少女

おじさん健人が目をさます。

少女 あ、起きた。早く、二人を起こして！

おじさん健人 ええ、何時だろ？ 十一時半？ （健人と美都里に）起きろ！ 起きろ！

起きろ！

健人、美都里、目を覚ます。

健人 何時だろ？（時計を見て）十一時半？！

美都里 （おじさん健人に）なんで起こしてくれないんだよ。

おじさん健人 長旅で疲れて熟睡してたんだよ。

美都里 役に立たないな。

健人 行こう。
美都里 うん。

おばあちゃんがやつてくる。

おばあちゃん おや、起きたのかい。よく眠つてたね。
健人 ちよつと出かけてくる。

おばあちゃん どこに？

健人 友達に会いに行くんだ。

おばあちゃん 車で送つていこうか？

健人 そんな遠くじゃないんで。

おばあちゃん いいのかい？

健人 夕方までには帰つてくるから。行つてきます！

美都里 行つてきます。

おじさん健人 行つてきます。

三人、出て行く。

おばあちゃん 気をつけて行つておいで！

札幌の町。
おばあちゃん出て行く。

わたしとわたし、ぼくとぼく

健人 あれ、どつちだろう。
おじさん健人 こつちだよ。こつち。

健人と美都里、おじさん健人の指す方へ向かう。

健人 おかしいな。北六条ってことはこのへんなんだけど。

おじさん健人 ごめんごめん、勘違いしてた。こつちだつたよ。こつち。

美都里 もう……

二人、公園に着いた。

健人 着いた。ここだね。

美都里 誰もいない。

おじさん健人 十二時過ぎたから、出発しちやつたんだ。

美都里 どうしよう？

少女 追いかけて！

おじさん健人 追いかけよう。

健人 どつちに行つたんだろう？

少女 大通り公園からすすきのに向かつてるはず。

おじさん健人 行こう！

美都里 うん。

三人、また歩き出す。

健人 あ、あれだよ、きっと。

美都里 こつちに来る！

パレードのフロートから流れる70年代ディスコの曲が聞こえてくる。

たとえば、ペツトショップボーアイズがカバーした「G。W。e。s。t。」など。
三人、やつてくるパレードの隊列を見ている。

おじさん健人 パレードがやつてくる。何人くらいいるんだろう。とにかく大勢の人たち。先頭は、横断幕を持った人たち。そのうしろにプラカードを持った人たち。「いろいろな生き方、いろいろな愛し方」「社会に合わせて生き方は変えられな

わたしとわたし、ぼくとぼく

い」。大きなレインボーフラッグを持った人が何人も。ものすごいメーカーと衣装のドラッグクイーンの人たち。にぎやかな音楽。

すごいね。

うん。すごいね。

健人
美都里
うん。

健人と美都里、手を振る。

三人の目の前をパレードが通り過ぎる。

豪華なドレスに大きなウィッグのドラッグクイーンが通りかかり、二人の近くにやつてくる。

ドラッグ（健人と美都里に）小学生？

健人
はい、そうです。

ドラッグ（おじさん健人に）父さんかい？

おじさん健人 見えてるの？

ドラッグ
なにはんかくさいことゆつてんの？ 隠れてるつもりかい？

おじさん健人 まあ、そんなところです。

ドラッグ
なんで靴履いてないの？

おじさん健人 ……大地を直に感じたくて。

ドラッグ
へえ。一緒に歩かない？

美都里
いいんですか？

ドラッグ
決まってるべさ。こっちからの眺めはいいよ。（おじさん健人に）父さんも一緒に！ おいで！

健人、美都里、おじさん健人 はい！

健人と美都里、歩道から車道へ降りる。

ドラッグ
ほれ、行くよ。

三人、パレードに合流して歩いて行く。

おじさん健人 パレードは札幌の繁華街すすきのを進んでいく。車が止められた道路をお祭り

のようににぎやかな人たちが歩いて行く。沿道から見ている人たちがびっくりしてみいたつたけど、ほとんどの人が笑顔で手を振ってくれてる。そして、ゴールの中島公園の広場に着いた。

わたしとわたし、ぼくとぼく

中島公園の芝生広場。

ドラッグクイーンと健人、美都里がやってくる。

ドラッグ
健人
はい、着いた。お疲れ様。足、大丈夫かい？
はい、全然。

ドラッグ（おじさん健人に）裸足でよく歩けたね。ゆるくなかったっしょ？
おじさん健人 大丈夫です。ありがとうございました。

ドラッグ 実行委員長のあいさつが始まるよ。

一同、その場に腰を下ろす。

実行委員長 みなさん、おつかれさまでした。実行委員長の中条です。

みんな、拍手をする。

実行委員長 第2回セクシャル・マイノリティプライドマーチ札幌へようこそ。この時期の札幌は一年で一番いい陽気のはずなんですが、今日は今にも降り出しそうな曇り空です。正午に北6条エルムの里公園を出発して、北海道庁付近で警察の妨害がありました。駅前通り、大通り公園、すすきのと進み、無事、ここ中島公園、芝生広場へ到着しました。沿道の人たちの反応も昨年以上に好意的でした。飛び入りで参加してくれた人も大勢いたようです。参加者の総数は、集計中ですが、約280人とのことです。道内だけでなく、全国各地から大勢の方に参加していただきました。少し休憩をして、その後の集会で参加のみなさんからメッセージをいただきたいと思います。では、よろしくお願ひします。

実行委員長、退場する。

実行委員長（おじさん健人に）おつかれさまでした。

おじさん健人 おつかれさまでした！（見えていることに気付いて）え？！

実行委員長、そのまま退場。

健人
美都里
はい、着いた。お疲れ様。足、大丈夫かい？
はい、全然。

健人
美都里
雨降るのかな？
寒くなってきたね。冬みたい。
上着持つて来ればよかつた。

わたしとわたし、ぼくとぼく

ドラアグ 入るかい？

健人、美都里 は？

ドラアグ 私のドレスに。こたつみたいに。

たしかにドラアグクイーンのドレスは巨大なスカートだ。

健人 ああ、でも、悪くないですか？

ドラアグ なんもなんも。気にすつことない。

美都里 おじやまします。

美都里、ドラアグクイーンのドレスの裾に入る。こたつに入るよう。

健人 じやあ……

健人も入る。

ドラアグ 父さんも遠慮しないで。

おじさん健人 いや、ぼくは……

ドラアグ いいふりこかなくていいから。

おじさん健人 はあ……

おじさん健人も一緒にに入る。

ドラアグ なんばかぬくいっしょ？

美都里 はい。

健人 あの、質問があるんですけど。

ドラアグ なに？

健人 えーと、男ですか、女ですか？

ドラアグ どつちだと思う？

健人 えーと、男。

ドラアグ ブー。

美都里 女？

健人、美都里 ええ？

ドラアグ

美都里

健人

ドラアグ

健人、美都里

ええ？

ドラアグ 私はドラアグクイーンだからね。どっちでもあり、どっちでもないのさ。

美都里 そうなんだ。

あの、いくつなんですか？

健人 トシかい？

健人 はい。

ドラアグ

いくつだと思う？

健人 うーん。

ドラアグ ドラアグクイーンに年齢はないんだよ。私は永遠の十八歳。あんたたちはいく

つなんだい。

健人 十歳です。

美都里

小学五年です。

ドラアグ ジやあ、一緒だね。私も十代だから。

おじさん健人 一緒ってそんな……

ドラアグ（おじさん健人に）ちょっと、そこ、言いたいことがあるなら、ちゃんと言う。悪口は面と向かつて言われたいからね。

おじさん健人 悪口じゃないです。なんでもないです。

ドラアグ あんたたち、内地から来たのかい？

健人 内地？

おじさん健人 北海道じゃないところってこと。

美都里 名古屋からです。

ドラアグ 名古屋？（突然、大声で）みんな、ここに名古屋から来た小学生がいるよ！

すごいよ！

健人、美都里、おじさん健人 ええ？！

健人と美都里、立ち上がりついざつ。

ドラアグ なして來たんだい？

えーと、新聞で見て。どんな人たちがいるのかなと思って。

健人 どうだい？ どんな人がいる？

ドラアグ 健人（集まつた人たちを見て）いろんな人がいる。みんな楽しそうですね。うらやましい。

ドラアグ 楽しくないのかい？

間

わたしとわたし、ぼくとぼく

わたしとわたし、ぼくとぼく

健人 大好きだった友達が転校して、会いに行つたら、もう来ないでほしいって……
失恋したのかい？

健人 ……はい。

ドラアグ それはつらかったね。でも、だいじょうぶ、元気だしなよ。ご覧、いろんな人がいるだろう。私みたいに女装しているなドラアグクイーン、ヒゲを生やしてるかっこいい兄さん、カツプルで来てる姉さんたち。車椅子で参加してる人、その介助をしてる人、自分はそうじやなくとも応援しようつていう人、ただお祭りが好きで参加してる人。「多様な個性を認め合つてこそ豊かな社会」なんて立派なメッセージ掲げてるけど、そんなことより、自分は一人じゃない、そういう思つて帰つてくれたらしいと思つてるんだ。

健人 一人じゃない？

ドラアグ そう。そう思うと、少しは元気になれるつしょ。

健人、おじさん健人、顔を見合わす。

ドラアグ ところで、母さんはいるのかい？

健人（おじさん健人に） どうなの？

おじさん健人 いません。

ドラアグ それでは、私が母さんになつてあげようかね。

健人、美都里、おじさん健人 ええ？！

ドラアグ 父さんが二人になつてしまふか。

おじさん健人 やっぱり男だつたんですね。

ドラアグ 細かいことは気にしない。どうかね？

間

おじさん健人 お気持ちはとてもうれしいんですけど……

ドラアグ なんもなんも。ゆつてみただけだから。ゆつてみただけ！（突然、大声で）誰か！誰か写真撮つて！「写るんです」でいいから。（健人たちに）記念だよ、記念。忘れないように。そんくらいいいべさ。

おじさん健人 はい！

誰かがカメラを持ってやってきた。

ドラアグ ありがとう、やつちゃん。みんな入って。はい、チーズ！

みんな笑顔。
カメラのシャッターが切られる。

ドラアグ ジやあ、もう一枚。

健人、ドラアグクイーンがしている、指のサインに目をとめて。

健人 それなんですか？

ドラアグ（指のサインを示して）これは「I Love You」。愛してるって意味。世界共通だよ。

健人、美都里 へえ。

健人、美都里、「I Love You」のサインをしてみる。

ドラアグ はい、チーズ。

健人、美都里も「I Love You」のサインをして写真に収まる。
カメラに写った一同、退場していく。

おばあちゃんの家。
おばあちゃんは、美都里の母と電話で話している。

おばあちゃん ほんとうにうちの健人がご迷惑かけて。どうぞ心配なく。もう一晩泊めて、明日、飛行機で帰るようにしますから。ええ、汽車よりその方が。私が新千歳空港まで送つていきますから。しからないでやつてください。はい、到着の時間がわかつたら、お電話しますんで。はい。はい。どうも。おばんでした。

おばあちゃん、受話器を置く。

おばあちゃん 電話替わつてほしいって言われたけど、よかつたのかい？
美都里 いいです。話したくないから。

おばあちゃん お母さん心配してたよ。
美都里 帰りたくない。
おばあちゃん どうして？

わたしとわたし、ぼくとぼく

わたしとわたし、ぼくとぼく

美都里 女らしくないって、もっと女の子らしい服着ろつて。

おばあちゃん いやなんだね？

美都里、うなづく。

おばあちゃん そう。じゃあ、負けちゃいけないよ。

美都里 え？

おばあちゃん お母さんに何て言われようと負けちゃいけない。

健人 どうして？

おばあちゃん 親は子どもの幸せを一番に願うもののなの。だから、もし、あんたが母さんの言うことを聞いて幸せじやくなつたら、将来きっと後悔されることになる。だから、負けちゃいけない。母さんのためにもね。大事なのは、あんたが幸せになることなんだ。

美都里 幸せになること……

おばあちゃん 今はわかつてもらえないかもしれない。でも、忘れちゃいけないよ。

美都里 はい。

おばあちゃん さて、晩ご飯の支度をしよう。今日はジンギスカン。

健人 また？

おばあちゃん それと手巻き寿司。

健人、美都里 やつた！

おばあちゃん せつかく来たんだもの。おいしいものたくさん食べて帰つておくれ。

おばあちゃん、立ち上がる。

美都里 手伝います。

おばあちゃん おや。それじゃ、頼もうかね。

二人、退場。

健人、見送っている。

おじさん健人がやつてくる。

おじさん健人 どうしたの？

健人 来てよかつたなあと思つて。

おじさん健人 おばあちゃん、うれしそうだね。

わたしとわたし、ぼくとぼく

香奈
梨絵
香奈
梨絵
香奈
梨絵
香奈
梨絵

綾香がやつてくる。

あーあ、明日から夏休みか。

うれしくないの？

だつて、毎日、塾だもん。

ねえ、みんなで花火大会行かない？

みんなつて？

男子も誘つて。大勢で。

いいね。楽しそう。

健人 ねえ、ずっとここにいたらダメかな？ だって、ここにいる方が楽しい。
おじさん健人 ……だめじやないよ。そうしたいなら、そうすればいい。

健人 決めていいの？

おじさん健人 もちろん。だって、これはきみの人生なんだから。

健人 ……。

おじさん健人 どうする？ どうしたい？

間

健人 やつぱり帰る。帰つてからも、楽しくなるようがんばってみる。

おじさん健人 がんばれ！ 札幌にはまた来ればいい、これから何度も。おばあちゃんに会いに。昼間会つた人たちに会いに。

健人 うん。

少女、二人の様子を見ている。

*

*

*

*

*

学校の教室。

チャイムが聞こえてくる。

一学期の最後の日。

授業が終わつて、掃除の時間。

梨絵と香奈、健人と美都里がいる。

わたしとわたし、ぼくとぼく

綾香 香奈 健人 香奈 綾香 梨絵

ねえ、綾香、みんなで花火大会行かない?
ええ、いいね。行こう行こう。
（健人に）一緒に行く？
一緒に行く？

梨絵
綾香
(健人に) 一緒に行く?
一緒に行く?
（梨絵に）やめなよ。誘つても行くわけない。
だよね。

香奈
梨絵
（健人に） 一緒に行く?

健人
梨絵
（綾香に） やめなよ。誘つても行くわけない。
だよね。

健人
梨絵
（香奈に） やめなよ。誘つても行くわけない。
だよね。

健人
梨絵
（綾香に） やめなよ。誘つても行くわけない。
だよね。

健人
梨絵
（香奈に） やめなよ。誘つても行くわけない。
だよね。

健人
梨絵
（綾香に） やめなよ。誘つても行くわけない。
だよね。

健人
梨絵
（香奈に） やめなよ。誘つても行くわけない。
だよね。

健人
梨絵
（綾香に） やめなよ。誘つても行くわけない。
だよね。

健人
梨絵
（香奈に） やめなよ。誘つても行くわけない。
だよね。

健人
梨絵
（綾香に） やめなよ。誘つても行くわけない。
だよね。

健人
梨絵
（香奈に） やめなよ。誘つても行くわけない。
だよね。

健人
梨絵
（綾香に） やめなよ。誘つても行くわけない。
だよね。

健人
梨絵
（香奈に） やめなよ。誘つても行くわけない。
だよね。

健人
梨絵
（綾香に） やめなよ。誘つても行くわけない。
だよね。

健人
梨絵
（香奈に） やめなよ。誘つても行くわけない。
だよね。

梨絵、綾香、香奈、不思議そうに見ている。

お母さんから聞いたんだけど、翔太くん、また引っ越すんだって。

どこに？

ブラジル。

遠いね。

地球の裏側。

もう会えなくなっちゃうね、健人。

いつ引っ越すの？

今日だって言つてたよ。一学期が終わったらすぐつて。
いそがしいね。

健人、掃除の手を止めて考えている。

どうしたの、健人？

……どうしよう。

健人……

……どうしよう。

また会いに行くの？

でも掃除当番だよね。
残念だったね。

綾香

梨絵

綾香

綾香、
香奈

綾香、
香奈

健人

梨絵

綾香

梨絵

綾香

健人

梨絵

綾香

梨絵

綾香

健人

梨絵

綾香

健人

梨絵

綾香

健人

梨恵

綾香、
香奈

健人

綾香、
香奈

健人

綾香、
香奈

健人

綾香、
香奈

健人

おじさん健人がやつてくる。

わたしとわたし、ぼくとぼく

健人、出て行く。
美都里と梨絵、綾香、香奈、掃除を始める。
おじさん健人がやつてくる！

わたしとわたし、ぼくとぼく

おじさん健人 ちょっと待った。忘れてないよね。もう来ないでほしいって言われたこと。

健人 でも、会いたい。会って、ぼくはもう一人でだいじょうぶだって、言いたいんだ。

おじさん健人 今から行つても間に合わないよ。

健人 でも、もう会えなくなるんだから。

おじさん健人 待つて！

健人 止めないでください。

おじさん健人 止めないよ。ぼくも一緒に行く。

健人 行こう！

二人、走り出す。

健人 ぼくは走つた。

おじさん健人 ぼくたちは走つた。

二人 翔太くんの家まで。

健人 翔太くんの家まで。

二人 ぼくは走つた。

健人 ぼくたちは走つた。

翔太くんの家まで。

翔太くんの家まで。

健人 息が切れて、立ち止まる。
その場で息を整えている。

おじさん健人 そうだ、タクシー拾おう。タクシー！

おじさん健人 手を上げてタクシーを止めようとするが止まらない。

おじさん健人 ああ、見えないんだった。
健人 行こう。

二人、また走り出す。

わたしとわたし、ぼくとぼく

わたし	健人	ぼくは走つた。
おじさん	おじさん健人	ぼくたちは走つた。
わたし	翔太くん	翔太くんの家まで。
おじさん	おじさん健人	翔太くんの家まで。
わたし	二人	翔太くんの家まで。
おじさん	健人	ぼくは走つた。
わたし	二人	ぼくたちは走つた。
おじさん	翔太くん	翔太くんの家まで。
わたし	翔太くん	翔太くんの家まで。
おじさん	健人	ぼくは走つた。
わたし	健人	ぼくたちは走つた。
おじさん	翔太くん	翔太くんの家まで。
わたし	翔太くん	翔太くんの家まで。
おじさん	健人	ぼくは走つた。
わたし	健人	ぼくは走つた。
おじさん	翔太くん	翔太くんの家まで。
わたし	翔太くん	翔太くんの家まで。
おじさん	健人	ぼくは走つた。
わたし	健人	ぼくは走つた。
おじさん	翔太くん	翔太くんの家まで。
わたし	翔太くん	翔太くんの家まで。
おじさん	健人	ぼくは走つた。
わたし	健人	ぼくは走つた。
おじさん	翔太くん	翔太くんの家まで。
わたし	翔太くん	翔太くんの家まで。

健人、また立ち止まって、息を整える。

おじさん健人 少し休もう。

健人 翔太くん行つちやうよ。

おじさん健人 もう行つちやつたかもしねないよ。

健人 そんなことない。間に合うよ、きっと。

おじさん健人 水か何か飲んだ方がいい。ちょっと待つてて、買ってくるから。

健人 大丈夫。

健人、走り出す。

おじさん健人も一緒に。

健人 ぼくは走つた。

翔太くんの家まで。

ぼくは走つた。

翔太くんの家まで。

もう少しだ。

おじさん 健人 もう少し。

健人 もう少し。

おじさん 健人 もう少しだ。

健人、おじさん 健人 ぼくは走つた。

翔太くんの家まで。

ぼくは走つた。

翔太くんの家まで。

おじさん 健人 翔太くんの家が見えてきた。

わたしとわたし、ぼくとぼく

健人 あ、あの車。
おじさん健人 翔太くんが車に乘ろうとしてる。
健人 翔太くーん。
おじさん健人 翔太くんには聞こえない。
健人 翔太くーん。
おじさん健人 車が走り出した。
健人 翔太くーん！
健人、おじさん健人 翔太くーん！
健人、叫びながら、大きく手を振る。
おじさん健人も。

間

おじさん健人 翔太くんはぼくに気がついた。窓から身体を乗り出して、ぼくに向かって、大きく手を振つてる

健人 翔太くん！！ 元気でね！！！

おじさん健人 車がどんどん遠くなつていつて、そして見えなくなつた。

二人、振つていた手を下ろす。
長い間

健人 やつたね。

おじさん健人 うん。

健人 言いたかったこと、全然言えなかつたけど。

おじさん健人 でも、がんばった。

健人 そつちこそ。

おじさん健人 うん。がんばった。

二人、グータッチ。

間

おじさん健人 ずっと黙つてたけど、ぼくは20年後のきみなんだ。

健人 20年後のぼく。

わたしとわたし、ぼくとぼく

おじさん健人 そう。がつかりした?

健人 ぼく、大人になつてゐるんだね。

おじさん健人 うん、なつてゐる。こんなんでも「ごめんね。

健人 言いたいことはいろいろあるけど、背が伸びてるから許す。

二人向き合つて立つてゐる。

おじさん健人 思い出した。こうやつて、翔太君の家まで走つたこと。

健人 今、走つたばかりじゃない。

おじさん健人 ずっと忘れてたんだよ。ありがとう。

健人 どういたしまして。

おじさん健人 ……。

健人 おじさん、元気だしなよ。

おじさん健人 うん。

健人 じやあね。

健人、「I L o v e Y o u」のサイン。

おじさん健人も「I L o v e Y o u」のサイン。

健人、去つて行く。

おじさん健人、立つてゐる。

現在。

おじさん健人の部屋。

ドアの向こうから母親の由美子の声。

由美子 健人、起きてる?

おじさん健人 なに、母さん。

由美子が入つて來る。

由美子 晩ご飯、どうする?

おじさん健人 知らない。

由美子 少しは外に出たら。

おじさん健人 出てるよ。

由美子 コンビニでしょ。ねえ、タロウの散歩行つてくれない。

わたしとわたし、ぼくとぼく

おじさん健人 ……わかつた。行つてくる。

由美子 え？ ……そう。じゃあ、お願ひね。

由美子、出て行こうとする。

おじさん健人 母さん、話があるんだけど。

由美子 なあに？

おじさん健人 座つて。

由美子、椅子に座る。

おじさん健人 実は、ぼく、ゲイなんだ。

由美子 ……。

おじさん健人 ずっと黙つててごめん。ごめんつていうとゲイでごめんつて言つてるみたいだけど、そういうじやなくて……。えーと……、えーと……

由美子 ……そうなんだ。

おじさん健人 ……うん。

由美子 あなたはそれでしあわせなの？

おじさん健人 ……うん。

由美子 そう。

間

由美子 そうじやないかつて思つてた。

おじさん健人 え？！

由美子 小学生のとき、急に札幌に行つて帰つてきて、そういう人たちのパレード見たんだつて、一緒に歩いたんだつて、しゃべつてたじやない。うれしそうに。

おじさん健人 そつか……

由美子 もつと早く言つてくれればよかつたのに。あ、あなたなりに気を遣つてくれたんだね。

おじさん健人 だから、孫の顔見せてやれないと思う。

由美子 そんなこといいから。それより、園長先生から電話があつたよ。いつ頃復帰で

きそつかつて。

おじさん健人 明日、明日から行くから。

由美子

わたしとわたし、ぼくとぼく

由美子 だいじょうぶなの?

おじさん健人 うん。

由美子 それじや、タロウの散歩、よろしくね。

おじさん健人 うん。

由美子、出て行く。

保育園の保護者会。

初夏。

園長先生と保護者1、2、3がいるところにおじさん健人が加わる。

園長先生

前回の保護者会でご指摘いただいた件について、園として対応を検討しました。これから夏のプール指導が始まりますが、着替えを手伝う場合もお子さんと保育士が二人きりにならないよう、また、トイレやおむつ替えも密室にならないよう配慮することにしました。これは、男性保育士だから、女のお子さんだからということではなく、子どもたちみんなに対してということです。どうぞご理解ください。

保護者2

そういうことならね。
わかりました。ありがとうございます。

保護者1

それから、佐々木先生からみなさんにお話をあります。佐々木先生。

園長先生

おじさん健人
はい。園長先生にも相談したのですが、やはりみなさんにお伝えしておこうと思いました。私はゲイです。男性同性愛者です。だからどうということでもなく、これまでどおり変わらず子どもたちに向き合っていきたいと思っています。子どもたちは、今、お話ししたような言い方で伝えるつもりはありません。ただ、もし、男らしくない、女らしくないといつていじめられるようなことがあつたら、いじめられているその子を責めるのではなく、大人として子どもを守つてあげられる存在でいたいと思います。以上です。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

間

園長先生 それでは、今日はこれで。どうもありがとうございました。

園長先生とおじさん健人、頭を下げる。

保護者1、立ち上がり、健人の近くに来るが、何も言わず、出て行く。
保護者2、健人から離れ、避けるようにして小走りに出て行く。

保護者3、それまで黙って聞いていたが、立ち上がり、健人のそばへやつてくる。

無言で立っている。

園長先生

大地くんのお母さん。どうされました？

保護者3

……大地には母親が一人いるんです。

園長先生、

おじさん健人 え？

保護者3

これまで、シングルマザーだとお伝えしていたんですが、本当はそうじゃないんです。シングルマザーだった時期もあるんですけど。私、レズビアンなんですよ。女性のパートナーと一緒に大地を育てています。

おじさん健人

そうだったんですね。

保護者3 大地はまだ小さいけど、いつか説明しなくちゃいけない。仕事が忙しいときは交替で送り迎えができるたらと思うんですけど、どうしたらいいか。誰に相談すればいいか、本当に困ってしまっていて。もうダメかもしれないって。でも、佐々木先生のお話を聞いて、がんばろうって思いました。ありがとうございます。

保護者3、頭を下げる。

おじさん健人 そんな、だいじょうぶですよ。力になりますから。

保護者3 はい。今度、二人で園に来るようになりますね。

おじさん健人 ええ。

保護者3、出て行く。

園長先生も出て行く。

おじさん健人、正面を向くと、そこは健人の部屋。

少女がやってくる。

少女 ありがとう、世界を救ってくれて。

おじさん健人 え、何もしてないよ。

少女 ううん、してくれた。あなたのおかげで私の世界は終わらずにすんだ。

おじさん健人 そうなの？

少女 うん。私、大地くんの子どもなの。

少女 おじさん健人 へ？ 大地くんの？

少女 大地くんの子どもとして生まれる予定なんだけど、生まれなくなるんじゃないかつて、私の世界が終わってしまうんじゃないかつて。だから、来たの。でも、

わたしとわたし、ぼくとぼく

あなたががんばってくれたおかげで、私は生まれることができる。

おじさん健人 そういうもののなの？

少女 そうだよ。何でもないひと言が誰かを救つたりする。何でもないことが、誰かのためになつてるんだって。

おじさん健人 そうか。そういうものなんだ。

少女 うん。

おじさん健人 ねえ、美都里に会いたい。会えるよね？ 知つてるんでしょ。教えてよ。

少女 会えると思うよ。探してみるといい。

おじさん健人 うん。

少女、歩き出しが、立ち止まる。

少女 ねえ、子どもの自分への手紙、書いてみたら？

おじさん健人 子どものぼくへの手紙？

少女 そう。ちゃんと書けそう？

おじさん健人 やつてみるよ。

少女 じゃあね。

少女、去つて行く。

おじさん健人 子どものぼくへの手紙か。えーと、子どものぼくへ。

おじさん健人、しばらく考えているが言葉をつづける。

おじさん健人 子どものぼくへ。元気ですか？ ぼくは……ぼくは元気です。

少年の健人、美都里、少女、おばあちゃん、ドライブクイーン、健人の母たちがやってきて、おじさん健人を見守っている。

おじさん健人、手紙の続きを考えている。

幕